

## TOROP デンマーク

1998年視察



コペンハーゲン名物・人魚の裏にも風力発電のプロペラがみえる

TOROPはデンマークの首都コペンハーゲンから1時間ほどいったところの農村地帯にある。デンマークのE.V.N（自給自足団地）の中でも最も古く83年から開発をスタート。こうしたエコハウスの建設は共産主義の動きと共に70年代に多く見られた。

TOROPには42世帯、成人55名、子供25名が住んでいて子供の数は増えている。8ヘクタールの農場をもち、食料も自給自足が目標だがまだ未達成。生活排水は浄化されるが、飲料水にはできない。生ゴミはコンポストで分解し、ガラス、金属は市のゴミ処理に任せている。将来は200人のコミュニティになるとか。住人は教育程度の高い、医者、看護婦、職人達が多く、こうした団地の建設に対して、国は5ヘクタールの土地を貸してくれ、計画費に対して30万クローネの補助金を出す。大きな風車は450キロワットで200世帯分の電力を供給している。



TOROP・ドームの家。奥に風力発電。



ドームの家の内部は木の内装で大空間



土を被って緑化屋根とサンルームをもった家